



第 15 回: 連合大分 (日本労働組合総連合大分県連合会)

連合大分の“つながる”社会連帯活動

— 在日米軍基地問題における沖縄とのつながりから地域とのつながりまで —

連合大分 副事務局長 (インタビュー時) 河野 智宏 氏

1. 連合大分の社会連帯活動

—「社会連帯活動」について、貴組織の運動方針ではどのように位置づけておられますか。

【河野】連合大分では連合本部の運動方針に基づき、志を同じくする仲間の思いと力を、幅広く国民的課題や地域の課題に対して発揮していくとともに、戦争や大規模災害などの実相を風化させず継承していくもの、また社会貢献活動への参加体験を通じて、仲間の思いを結集して運動の力を高めていくもの、という位置づけをしています。推進分野のひとつである社会連帯を通じた平和、人権、社会貢献への取り組みと、次世代への継承ということで、支えあい運動の推進、平和運動の推進、多様化する人権に関わる課題への対応、また自然災害への取り組み強化などの活動に取り組んでいます。

—どのような体制で活動を進めておられますか。

【河野】連合大分では組織運動推進局を中心に連帯活動を進めています。担当は副事務局長が

1名と担当の事務局員です。連合大分の内局は会長以下、事務局員含めて7名と限られた人数ですので、各構成組織の皆さんのご理解とご協力の上で、具体的な取り組みを進めています。

2. 力を入れている取り組み

—貴組織で力を入れている取り組みについてお聞かせください。

(1) 連合大分の平和行動

1 「在日米軍基地の整理・縮小」

「日米地位協定の抜本の見直し」の取り組み

【河野】1995年9月、沖縄の駐留米軍による少女暴行事件が社会問題となり、世論としても在日米軍基地を整理縮小すべきという声が高まりました。当時の政府としても沖縄の米軍基地の整理・縮小をめざす方針を示し、結果として沖縄県における米軍による実弾射撃訓練の一部が県外に分散して行われることとなります。そのうちのひとつが大分県の日出生台演習場です。この米軍実弾射撃訓練移転に関して地域住民の反対があり、連合大分としても地元での大規模

な反対集会へ積極的な参加を行うなど、米軍実弾射撃訓練の県内移転に反対する取り組みを行ったことがまず背景にあります。

こうした背景もあって、連合大分としては移転が決まったあとも在日米軍基地の整理縮小と日米地位協定の抜本の見直しを求める取り組みとして、集会やシンポジウムを開いています。そこには同じ九州ブロックの仲間である沖縄への思いも持って取り組んでいます。

初めてこの集会を開催したのが1999年。以降も様々な議論を行うなかで、在日米軍基地の整理縮小と日米地位協定の抜本の見直しを求めるという連合方針に基づく集会として連合九州ブロック連絡会と連携し、続けています。基本的に訓練のある年は屋外集会という形での開催となりますが、訓練のない年は屋内でのシンポジウムや学習会を行っています。

過去には、訓練がない年に、集会ではなく地元住民の方を対象に、平和コンサートを開催したこともあります。また、コロナ禍の際には、集会やシンポジウムをオンライン配信やオンライン併用という形で開催し、取り組みを継続してきました。

ちなみに今年は日出生台演習場での訓練がありましたので、1月に屋外での集会を開催しました。コロナ禍を経て、5年ぶりの現地での屋外集会でした。なお、この5年の間に役員の交代等もあったため、担当者としては不安なところもありましたが、結果として地元の実行委員会の皆さん、および各組織の皆さんのご協力によって3716名の方にご参加いただき開催することができました。

連合の基本的な考え方でもありますが、やはり平和であるからこそ安心して暮らし、働くことができますので、今後も続けていかねばならない活動のひとつだと思います。



副事務局長（インタビュー時）

河野 智宏 氏

2 平和行動 in 沖縄 連合沖縄青年委員会

「ピースガイド養成講座」参加

【河野】連合大分は2014年から平和行動 in 沖縄における、連合沖縄青年委員会主催の「ピースガイド養成講座」に参加しています。沖縄ではまだ在日米軍基地の課題が残されたままになっていますし、過去の戦争の歴史もありますので、連合沖縄の仲間と一緒にピースガイドに参加し、現地で学んで、語り合っ、つながりを強めながら連合大分の平和の運動を強化するための取り組みのひとつとして、毎年参加を続けています。

こちらの養成講座は連合沖縄の青年委員会を中心となって開催されているため、連合大分でも参加対象者を構成組織および地域協議会における概ね35歳以下の組合員として参加を呼び掛けています。

参加を呼びかけると構成組織および地域協議会から毎年3名から4名を選出していただける状況です。これは今まで10年以上の継続した取り組みにより、各構成組織に取り組みが根付いている結果なのかなと思っています。

ピースガイドの養成講座を受講した方は、平和行動 in 沖縄のピースフィールドワークにおいて実際にガイドをしていただくことになって

います。平和行動 in 沖縄の終了後、大分へ帰ってきたら、次は平和行動 in 大分でピースガイドについての報告を行っていただいています。

実際に沖縄にお住まいの方や連合沖縄の皆さんとのつながりの上で得た知識を持ち帰り、さらに自分の体験したことを連合大分の中で伝えていただくと、聞いている私たちも非常に心を打たれるものがありますし、良い取り組みだと思っています。

—ピースガイド養成講座を受けた方による、平和行動 in 大分での報告会はどのようなものになりますか。

【河野】基本的に平和行動 in 大分は、連合大分加盟組織の組合員の皆さんにお集まりいただき学習会を開催するとともに、街頭宣伝行動等を行っています。ピースガイドを行った皆さんは、この学習会の中で参加者に対して報告をします。ただ昨年と一昨年は、もう少し外部に向けた発信をしようということになり、学習会とは別に、屋外で集会（平和の夕べ）を行うなかで報告会を行っていただきました。一般の方も参加できる場所で開催したため、原爆詩の朗読や原爆パネルの設置なども行い、通りがかった方にも少しでも立ち止まっていただけるよう、考えながら企画しました。

—ピースガイド養成講座に参加された方からはどんな感想が聞かれていますか。

【河野】「すごくいい経験になりました」といった声をいただいています。

ピースガイドの養成自体も非常に大切なことですし、参加者を送り出していただいた構成組

織としても次の運動を担っていく若い組合員の育成につながっているという形になりますので、次世代に対する活動の継承となればいいなと思っています。

○メーデー

【河野】連合大分のメーデーでは式典の部と祭典の部があり、祭典の部では抽選会やキャラクターショーを行っています。また、今年は初めてキッチンカーを呼びました。

各組織の組合員さんだけでなく、未組織の働く仲間の皆さんも含めて、できるだけ多くの方に集まっていただけるようなものにしたいという思いはずっと持っているので、たくさんの方に足を運んでいただけるよう工夫をしながら企画しています。

参加者の中には、家族連れで来られている方もかなりの数見られるように思います。

—2025年のメーデーでは、「戦後80年に関する特別決議」を採択されたと拝見しました。過去にもこのような例はありますか。

【河野】基本的には本部に連携する形で考えていますので、本部で特別決議をするのであれば、それに準じたものを連合大分でも行うという形をとっています。ただ過去には1997年に日出生台への実弾射撃訓練移転が決まった際、日出生台への米軍実弾射撃訓練移転の強行に抗議し、米軍基地の整理縮小を求める決議を県下各地のメーデーで採択したという記録もあります。

○部落解放共闘大分県民会議への対応

【河野】連合大分は部落解放共闘大分県民会議と連携をしています。連合大分として会議に参画し、皆さんと一緒に取り組みをしています。

部落解放共闘大分県民会議では、毎年夏期に学習会を開催するとともに、年二回の幹事会の際にも役員学習会を行って役員の意識向上に努めています。

また、九州では部落解放・人権確立全九州研究集会というものが毎年行われており、ここへも役員を含めて積極的な参加をしています。さらに部落解放共闘九州ブロック県民会議もありますので、そちらとも連携を取りながら取り組みを進めているといった状況です。

引き続き、基本的な考え方ではありますが、人権侵害救済法の制定や本人通知制度の重要性の周知徹底など、あらゆる差別の撤廃と人権尊重社会の実現に向けて、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

○ NPO との連携

【河野】 連合大分では NPO と連携してボランティアの取り組みも行ってきました。

こちらは「ゆにふあん」の取り組みの中で、連合大分に対して連携の提案があったことをきっかけに連携がスタートしたという経緯です。今のところ新たな団体との連携の予定はありませんが、連携可能な団体があれば、積極的に対応していきたいと考えています。

3. 今後の展望

【河野】 これまで取り組んできたものに対して、しっかりと引き続き取り組んで、未来につないでいくというところが一番大切かなと思っています。今のところ新しい取り組みを考えるとろまではおよんでいませんが、働く皆さんはもちろんのこと、大分県の住民の皆さん、地域の皆さんとのつながりをしっかりと作っていきたいと考えています。

組織概要

構成組織：27 産業別労働組合 5 直加盟組織
5 地域協議会

組合員数：約 4.6 万人

結 成：1989 年 11 月 28 日

URL <http://www.rengo-oita.jp/>

(インタビュー日：2025 年 6 月 13 日)

このインタビュー連載は、2024 年 5/6 月号よりスタートしました。地方連合会の連帯活動は、組織（地域）ごとに特色があり、多様な活動が展開されています。この活動に光をあて、地域の運動がどのように紡がれてきたのか、また、これからどのように展開していくのか、インタビューをつうじて（再）発見できればと考えています。